安全データシート

この安全データシート は以下の要件に準拠し ている :
JIS Z 7252:2019; JIS Z 7253:2019

発行日 05-8-2025 **改訂日** 05-8-2025 **改訂番号** 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Inr-Seel

登録番号 情報なし

安全データシート の供給者の詳細

製造者
The MazWell Group Ltd.
Units 11/14-15 Ardglen
Industrial Estate,
Whitchurch, Hampshire,
RG28 7BB, United Kingdom
+44 (0)1256-893883
+44 (0)1256-893868
enquiries@themazwellgroup.com

供給者
Cosmo Trade and Service Co., Ltd.
23rd Floor, msb Tamachi, Tamachi Station Tower N, 3-1-1 Shibaura, Minato-ku, Tokyo 108-0023, Japan
TEL:03-3798-9315 / FAX：03-3798-9415
cts_embalming@cosmo-oil.co.jp
www.cosmo-trade.com

緊急連絡電話番号 +44 (0)1256 893883 (Mon- Fri 9:00 am - 4:30 pm GMT)
+81-3-3798-9315

電子メールアド レス enquiries@themazwellgroup.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 エンバーミング薬品

使用上の制限 目的のアプリ ケーショ ンにのみ使用し てく ださい

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

誤えん有害性	分類できない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当し ない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じ ん／ミ スト	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない

発がん性	区分 2
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	区分 2
区分 2　呼吸器。	
水生環境有害性 - 急性	分類できない
水生環境有害性 - 慢性	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語 警告

危険有害性情報
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 発がんのおそれの疑い
- 長期にわたる、又は反復ばく 露による臓器の障害のおそれ
  長期にわたる、又は反復ばく 露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器。

注意書き
安全対策
- 使用前に取扱説明書を入手すること
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- 粉じん、煙、ガス、ミスト 、蒸気、スプレーの吸入を避けること

応急措置
- ばく 露又はばく 露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること
- 特別な処置が緊急に必要である(このラベルの応急措置についての補足指示を見よ)
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

保管
- 施錠して保管すること

廃棄
- 内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること

他の危険有害性
- 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質･混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
酸化チタン(IV)	13463-67-7	1.14	既存	(1)-558,(5)-5225	既存	(1)-558,(5)-5225
1,2-ベンゾチアゾール-3(2H)-オン	2634-33-5	0.1743	既存	(9)-1845	既存	(9)-1845

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当しない

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。

眼に入った場合 まぶた(瞼)の裏側まで多量の水でよく洗うこと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 掻痒感。 発疹。 じんま疹。

医師に対する特別な注意事項 過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 情報なし。

特有の危険有害性 製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

危険有害性燃焼生成物 熱分解すると刺激性のガス及び蒸気を放出することがある。
爆発性 該当しない。 爆発物ではない。

特有の消火方法 提供された情報に基づき知見なし。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 保護眼鏡、不浸透性の保護衣、手袋及び／又は長靴を着用すること。 飲食物、動物用飼料から離して保管する。

衛生対策 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく 換気のよい場所に保管すること。 容器を立てて保管すること。

8. ばく 露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	ISHL濃度基準値	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
酸化チタン(IV) 13463-67-7	-	TWA: 2 mg/m³; TWA: 1.5 mg/m³; respirable particulate matter TWA: 0.3 mg/m³;	TWA: 0.2 mg/m³ nanoscale respirable particulate matter TWA: 2.5 mg/m³ finescale respirable particulate matter

注 用語及び略語については項目16を参照。

生物学的許容値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

設備対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸用保護具を着用すること。

眼及び／又は顔面の保護具 サイド シールド 付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 適切な眼保護具を使用すること。

手の保護具 適切な手袋を着用すること。 不浸透性手袋。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。 長袖の衣類。 不浸透性衣類。 耐薬品性エプロン。 不浸透性の保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	黄褐色 ペースト
物理状態	液体
色	黄褐色
臭い	香水
臭いのしきい値	情報なし

特性	**値**	**備考 ・方法**
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発又は可燃の上限界		データなし
爆発又は可燃の下限界		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
SADT (°C)		データなし
pH		データなし
粘度		
動粘性率		データなし
動的粘度		データなし
水への溶解度		混和する
溶解度		データなし
n ーオクタノール／水分配係数(log値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		
相対密度	1 - 1.2	@20°C
蒸気濃度		データなし
かさ密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報	
分子量	情報なし
VOC含有率	情報なし
軟化点	情報なし

物理的危険性クラスに関連するデータブツリテキキケンセイカンレン	
爆発物	
爆発性	該当しない 爆発物ではない
酸化性	該当しない 酸化剤ではありません

10: 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下ではない。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。
避けるべき条件	提供された情報に基づき知見なし。
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし、 熱分解すると刺激性のガス及び蒸気を放出することが

ある。

爆発データ
静電放電に対する感度 なし。

機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。この化学物質又は混合物の特定試験データはない。反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

物理的、化学的、及び毒性学的特性に関係する症状

症状 掻痒感。発疹。じんま疹。

急性毒性 分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度
混合物のATE値は下記のとおり算出されている:
ATEmix(経皮) 8,373.20 mg/kg

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
酸化チタン(IV)	> 2000 mg/kg (Rat)	-	> 5.09 mg/L (Rat) 4 h
1,2-ベンゾチアゾール-3(2H)-オン	= 1020 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rat)	-

略語及び頭文字
Rat: ラット

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性／刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。発がんのおそれの疑い。この製品は、動物を二酸化チタン粉じんにばく露した実験室研究に基づきIARC 2Bに分類される二酸化チタンを含む。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
酸化チタン(IV) 13463-67-7	発がん性2	グループ2B - ヒトに対する発がん性が疑われる

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく 露) 長期にわたる、又は反復ばく 露による臓器の障害のおそれ。
呼吸器。

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

残留性・分解性 情報なし 。

生態蓄積性

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
1,2-ベンゾチアゾール-3(2H)-オン 2634-33-5	0.99

土壌中の移動性 情報なし 。

オゾン層への有害性 分類できない。

他の有害影響 情報なし 。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG 規制対象外

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコード によるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

国内規則
項目15を参照。 消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する場合はそれぞれの規定に従う 。

日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

労働安全衛生法

通知対象物質･リスクアセスメント 対象物質
法第５７条の２、施行令第１８条の２、及び法第５７条の３

告示名称	含有量%(合計)	施行日
酸化チタン(IV)	1.1	
１，２-ベンゾイソチアゾール-3 (2Ｈ)-オン	0.17	

表示対象物質
第57 条第1 項施行令第18条

告示名称	含有量%(合計)	施行日
酸化チタン(IV)	1.1	

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度
作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)
詳細な仕様については、SDSの項目8を参照
腐食性液体
労働安全衛生規則 第326条 に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置を講ずる必要のある腐食性液体

毒物及び劇物取締法
該当しない
消防法
該当しない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
該当しない
労働基準法
化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1
水質汚濁防止法
人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質
下水道法
法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4
大気汚染防止法
大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質
大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー
インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

発行日	05-8-2025
改訂日	05-8-2025
改訂記録	組成変更。 混合物の分類の変更。 改訂版。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例

ACGIH	米国産業衛生専門家会議
ADN	内陸水路による危険物の国際輸送に関する協定(欧州)
ADR	道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定(欧州)
AIIC	オーストラリア既存工業化学物質インベントリ
ATE	急性毒性推定値
ASTM	米国材料試験協会
bar	作業場における化合物の生物学的基準値
BAT	職業ばく露の生物学的許容値
BEL	生物学的許容値
bw	体重
天井値	最大限界値
CMR	発がん性物質、変異原性物質、生殖毒性物質
DOT	運輸省(米国)
DSL	国内物質リスト(カナダ)
EmS	非常措置指針
化審法インベントリ	既存及び新規化学物質(日本)
EPA	米国環境保護庁(Environmental Protection Agency)
GHS	世界調和システム
IARC	国際がん研究機関
IATA	国際航空輸送協会
IBC	危険化学薬品のばら積みの運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
ICAO	国際民間航空機関
IECSC	中国現有化学物質名簿
IMDG	国際海上危険物
IMO	国際海事機関
安衛法インベントリ	労働安全衛生法(日本)
ISO	国際標準化機構
KECI	韓国既存化学物質インベントリー
LC50	試験集団の50%に対する致死濃度
LD50	試験集団の50%に対する致死量(半数致死量)
MARPOL	船舶による汚染防止のための国際条約
他に品名が明示されているものを除く	他に品名が明示されていないもの
NOAEC	無毒性量
NOAEL	無毒性量
NOELR	無影響負荷率
NZIoC	ニュージーランド 化学物質インベントリー
OECD	経済協力開発機構
OEL	職業ばく露限度
PBT	残留性、生物蓄積性、毒性物質
PICCS	フィリピン化学品・化学物質インベントリー
PMT	残留性、移動性、毒性
PPE	保護具
PRTR	化学物質排出把握管理促進法
QSAR	定量的構造活性相関
RID	鉄道による危険物の国際輸送に関する規則(欧州)
SADT	自己加速分解温度
SAR	構造活性相関
SDS	安全データシート
SL	許容付着量
STEL	短時間ばく露限度
STOT RE	特定標的臓器毒性 - 反復ばく露ロ
STOT SE	特定標的臓器毒性 - 単回ばく露
TCSI	台湾既存化学物質インベントリー
TDG	危険物輸送法及び規則(カナダ)
TSCA	有害物質規制法(米国)

TWA	Time-Weighted Average (時間加重平均)
UN	国際連合
VOC	揮発性有機化合物
vPvB	高残留性、高生物蓄積性
vPvM	高残留性、高移動性
As	アレルギーを引き起こす物質
DS	皮膚感作性物質
Ot	聴力の障害をもたらすおそれがある
pOt	聴覚毒性物質 - 聴覚障害を引きおこすおそれのある物質
PS	光増感剤
RS	呼吸器感作性物質
S	感作性物質
poS	感作性物質 - 職業性喘息を引きおこすおそれ
Sa	単純窒息剤
Sd	経皮吸収
pSd	皮膚吸収 - 皮膚から吸収されるおそれ
Sdv	皮膚吸収 - 取消
Sk	経皮指標
dSk	経皮指標 - 皮膚吸収の危険性
pSk	経皮指標 - 皮膚吸収の可能性

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
米国環境保護庁(Environmental Protection Agency)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation, NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)の環境、保健及び安全に関する出版物
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)高生産量化学物質プログラム
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)スクリーニング情報データセット
国際連合世界保健機関(World Health Organization, WHO)

免責事項
この安全データシート は、JIS Z 7253:2019 に準拠している。 このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり